

<b>A3572</b> 営団地下鉄6000系 後期型 冷房車 基本6両セット	<b>予価:22,400円(税別)</b>
	JANコード: 121887    カートン内入数: 12

<b>A3573</b> 営団地下鉄6000系 後期型 冷房車 増結4両セット	<b>予価:12,600円(税別)</b>
	JANコード: 121894    カートン内入数: 12

**商品形態**    Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

**実車**  
1968(昭和43)年、営団地下鉄(現:東京メトロ)は電機子チョップ制御を用いた世界初の電車を登場させました。これが営団6000系です。主制御回路に半導体素子が採用された事で、従来は機械的な可動接点によって行っていた制御動作の無接点化に成功し、信頼性・メンテナンス性が大幅に向上しました。また、回生制動が実用化され、トンネル内部の発熱解消に寄与するとともに、消費電力の少ない「省エネ電車」としても注目を集めました。  
1971(昭和46)年から量産が開始された6000系の車体はアルミ合金製で、腰部にはラインカラーである緑色の帯が巻かれました。前面は窓の無い非常用扉を片側に寄せ、運転室窓を大きく採ったデザインで、当時としては大胆な試みとなった左右非対称の形状は後の車両デザインに大きな影響を与えました。  
6000系は改良を続けながら増備され、1981(昭和56)年に製造されたグループからは側面窓が一段下降式の物に変更された他、1988(昭和63)年に製造されたグループでは当初から冷房装置を搭載して落成しました。このグループでは代々木上原方先頭車のパンタグラフが省略されたのが外見上の特徴です。

**商品概要**  
・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実  
・ヘッドライト、テールライト、行先表示点灯。LED使用  
・フライホイール付動力ユニット搭載  
・ヘッドライトには金属製リム部品を採用  
・足元を引き締める波打車輪採用

銀色地に緑帯の車体、営団Sマーク



- ・A3570/71 営団6000系(冷房準備車)をベースとしたバリエーションモデル
- ・客用ドア窓が小さい未更新車
- ・一段下降窓の後期型を製品化
- ・1号車にパンタグラフが搭載されていないグループ
- ・足元を引き締める波打車輪を採用



・基本セットと増結セットを組み合わせることでフル編成を再現できます

東京地下鉄株式会社商品化許諾済

編成図    A3572    A3573



ライト  
←唐木田・代々木上原

ライト  
綾瀬・取手→

**オプション**    幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロプラー密連・灰:F0002

**付属品**    行先シール